

突撃！
市民リポーター

3月12日「春の文化講演会」に参加しました

こんにちは。市民リポーターの佐藤正子です。
3月12日、北本市文化センターで「春の文化講演会」が開催されました。
今年は市民文芸誌「むくろじ」の第40号記念。
俳人の正木ゆう子先生が「俳句が力になるとき」というテーマで講演され、東日本大震災で被災した福島県南相馬市の子どもの作品や熊本地震後の熊本日日新聞に投稿された作品が紹介されました。南相馬市では、東日本大震災の後、言葉を上手く言えなくなってしまった子どもたちのために俳句教室を開き、子どもたちは震災後の外出制限のある中、自然に触れながら言葉のスケッチを行い、自由に俳句を作ったそうです。
また、正木先生のお兄さんが生前、闘病中に俳句を詠まれたことにも触れられ、困難な時や病気の時の俳句は、威力を発揮することを話してくださいました。
今回の講演を聴き、俳句は自由な気持ちで楽しく作ることができ、時には心の支えにもなり、人生を豊かにしてくれると感じました。



リポーター
佐藤 正子さん

昨年から引き続き4人の市民リポーターを委嘱しました。



大嶋佐知さん



山北陽子さん



佐藤正子さん



小宮山菜津美さん

全国広報コンクールで広報きたもと平成28年11月号が初入選！

平成29年全国広報コンクールにおいて、財政状況を伝える取り組みが広報紙(市)部門、企画部門の2部門で入選しました。
本市において、全国で入選となったのは今回が初めてです。
また、県内市での入選は20年ぶりです。
引き続き、よりよい広報紙の作成をめざして努力していきますので、ご愛読よろしくお祈いします！



今月の新刊本〈中央図書館〉

※ここに載せているのは、新しく入った本の一部です。
※館内利用者端末と図書館ホームページで新刊一覧を閲覧できます。

一般書・読み物

- BUTTER
 柚木 麻子 (新潮社)
- とときどき旅に出るカフェ
 近藤 史恵 (双葉社)
- ひとめぼれ
 畠中 恵 (文藝春秋)
- 団塊の後 三度目の日本
 堺屋 太一 (毎日新聞出版)
- 諦めない女
 桂 望実 (光文社)
- 万次郎茶屋
 中島 たい子 (光文社)



御徒の女
 中島 要 (実業之日本社)

一般書・ノンフィクション

- 福澤諭吉の『世界国尽』で世界を学ぶ
 福澤 諭吉 (ミネルヴァ書房)
- この子は育てにくい、と思っても大丈夫
 星山 麻木 (河出書房新社)
- 大人美容 始めること、やめること
 地曳 いく子 (宝島社)
- 字が汚い！
 新保 信長 (文藝春秋)
- 手作りスタンプのアイデア帖
 主婦と生活社 (主婦と生活社)
- 季節をたのしむジャムと果実酒
 谷島 せい子 (成美堂出版)



高齢ドライバーの安全心理学
 松浦 常夫 (東京大学出版会)